

プライマリ・ケア認定薬剤師の認定試験実施に当たり、認定試験事前提示例題として情報を公表いたします。これまでの認定試験問題は、記述式問題が3問、正・誤などの選択問題が10問でした。今回も事前提示例題と同等かそれ以上の難易度の出題があるとお考えいただき、受験準備をしてください。尚、事前提示例題は出題の領域・形式を制限するものではありません。解答例は必要十分なものとは限りません。例題の解説は参考のために付したものです。事前提示例題・解答例・解説に関する質問は受け付けません。

事前提示例題：1

ある日、あなたは外出中に街なかで倒れている人を発見しました。救急初療の意識、ABCを確認したあなたは、反応がないことを確認し、一次救命処置(Basic Life Support)を開始することにしました。一次救命処置(Basic Life Support)について 誤っているもの はどれか？一つ選びなさい。

1. 傷病者を見つけたら、ただちに傷病者に駆け寄る。
2. 肩を軽くたたきながら「大丈夫ですか」と声をかけ、反応の有無を確認する。
3. 反応が無ければ、その場で大声で叫んで周囲の注意を喚起し、胸骨圧迫を直ちに開始する。
4. 周囲の者に救急通報(110番通報)とAEDの手配(近くにある場合)を依頼する
5. 傷病者が成人の場合、胸骨圧迫は5cmの深さで、1分間に100回のペースで行う。

解答例：

1

例題1の解説

1で周囲の安全の確認が必要。

誰かが倒れるのを目撃した、あるいは倒れている傷病者を発見した時の手順(通報とCPR開始の優先順位)として、以下のように対応する。①周囲の安全を確認する。②次に、肩を軽く叩きながら大声で呼びかけても何らかの応答や仕草が見られない時に「反応なし」とみなす。③反応がなければその場で大声で叫んで周囲の注意を喚起する。④周囲の者に救急通報(119番通報)とAEDの手配(近くにある場合)を依頼する。また、CPRの開始と胸骨圧迫については、以下の様な質の高い胸骨圧迫を行うことが重要とされている。①成人においては少なくとも5cmの圧迫、小児・乳児では胸郭前後径の約1/3の圧迫②1分間あたり少なくとも100回のテンポで行う③胸骨圧迫の中断を最小にする。(日本救急医療財団ホームページ JRCガイドライン 2010参照)

事前提示例題：2

患者さんの生活習慣を変えるための行動学的手法の一つとして、Berlin&Fowkesが提唱するLEARNの手法があります。これを簡潔に説明しなさい。

解答例：

- | | | |
|----------------|--------|--|
| 1) Listen | 聞く(傾聴) | 病気に対する患者さん自身の考え方や希望を解釈モデルなどを用いて明らかにする。 |
| 2) Explain | 説明する | 患者さんの考えや希望を医学的見地から整理して、きちんと理解していることを伝える。 |
| 3) Acknowledge | 認知する | お互いの知識を確認し認め合う。 |

- | | | |
|--------------|------|---|
| 4) Recommend | 薦める | 患者さんの社会的背景や希望を十分配慮した上で、専門家としてよいと思われる方法を薦める。 |
| 5) Negotiate | 協議する | 実行可能な具体的なプランを話し合っていく。 |

事前提示例題：3

次の1から4の記述のうち、正しいものはどれか。一つ選びなさい。

1. 日本の自殺による死亡者数は交通事故による死亡者数よりも少ない
2. プライマリ・ケアの外来を受診する患者の約30%は精神疾患を併存している
3. うつ病患者が最初に受診する診療科は精神科が圧倒的に多く、内科などの身体科を訪れることはまれである
4. プライマリ・ケア医や薬剤師は、精神科の知識や経験が乏しいので、自殺予防のゲートキーパーとして適任ではない

解答例：

2

事前提示例題：4

EBMの最初のステップで行う問題の定式化で用いる「PECO」（あるいはPICO）について、簡潔に説明しなさい。

解答例：

Patient、Exposure（あるいはIntervention）、Comparison、Outcomeの頭文字をとりPECO（あるいはPICO）といい、目の前の患者さんの問題や論文の問題を解決するための定式化に用いられる。

Patient どんな患者に、

Exposure（あるいはIntervention） 何をすると、

Comparison 何に対して、

Outcome どうなるか を定式化して考える。

例えば、高齢の高コレステロール血症の女性患者に、コレステロール低下薬を投与して、投与しないのと比べて、死亡が減少するか、のように定式化する。

事前提示例題：5

一般用医薬品であるガスター10[®]（ファモチジン10mg含有）を求めて消費者が来局した。薬剤師の対応として適切なものはどれか。一つ選びなさい。

1. 使用者の年齢に関係なく服用できると説明した。
2. 用法・用量は1日2回、1回1錠服用すると説明した。
3. ガスター10[®]の情報提供を、医療用医薬品の添付文書を使用して行った。
4. ファモチジン製剤の医療用医薬品であるガスター10[®]錠10mgと、効能・効果、用法・用量が同じであると説明した。
5. 3日間服用しても症状が改善しない場合には、再度相談に来るように説明した。

解答例：

5

例題5の解説

1. ×：ガスター10[®]は、小児（15歳未満）及び高齢者（80歳以上）は服用してはならない。
2. ×：ガスター10[®]の用法は、胃痛、胸やけ、もたれ、むかつきの症状があらわれた時に1錠服用、服用回数は1日2回までとされています。
3. ×：医療用添付文書は専門家がみる文書で、一般用医薬品添付文書は一般の人が見るようにつくられているため、内容が違う。
4. ×：一般用と医療用では効能・効果、用法・用量が異なる。
5. ○：3日間服用しても症状の改善がみられない場合には、服用をやめて医師や薬剤師に相談するように患者に伝える。

事前提示例題：6

薬局薬剤師が介護保険適用の利用者のかかりつけ医から訪問薬剤管理指導の依頼を受けた。診療報酬上、同一給付（たとえば在宅服薬指導など）の場合正しいのはどれか。一つ選びなさい。

1. 健康保険適用が優先される。
2. 介護保険適用が優先される。
3. 薬剤師の判断でどちらも適用できる。
4. 利用者の希望に応じた保険適用が決定される。

解答例：

2

以上

一般社団法人
日本プライマリ・ケア連合学会
プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会